学校だより

八潮市立柳之宮小学校

１１月号

令和８年１０月３０日

学校教育目標

やさしい子
元気な子
考える子

読書の秋 ～「読書活動の推進～」

八潮市立柳之宮小学校長　砂賀　正史

晩秋の候、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今月は ６ 年生の修学旅行や ４ 年生の社会科見学が実施されました。事前学習を入念に行い、どちらの学年も大成功に終えることができました。また、明日は待ちに待った秋季大運動会が実施されます。子どもたちは１ヶ月かけて前向きに練習に取り組んできました。練習で身に付けた力を思う存分発揮し、思い出に残る最高の運動会になることを期待しています。

さて、今月は「読書の秋」にちなみ、子どもたちの読書について考えてみたいと思います。近年、子どもたちの読書離れが全国的に進んでいるという調査結果が出ています。文部科学省の調査などによると、「１ 日の読書時間が ０ 分」と答えた小中学生の割合が年々増加しており、特に高学年になるにつれてその傾向が顕著です。スマートフォンの普及により、動画やゲームに時間を費やす子どもが増えている現状も背景にあるようです。しかし、読書には他のどんな活動にも代えがたい大きな力があります。物語に触れ、登場人物の気持ちを想像することで、共感力や豊かな感性が育まれます。また、文章を読む力は、国語だけでなく理科や社会、算数など、すべての教科の理解にも直結します。そして何より、本を通して「自分とは異なる世界」に触れる経験は、子どもたちの視野を広げ、深く考える力の土台を築いていくものです。最近の研究では、読書習慣のある子どもほど、学力や自己肯定感が高い傾向にあるとも言われています。すべての学びの基本は「読む力」です。その土台を築くのが日々の読書習慣であり、本校でも、ちょっとした声かけや環境づくりを大切にしながら、子どもたちの読書意欲を高める工夫に取り組んでおります。



毎年恒例の「読書週間」は、１０ 月 27 日から １１ 月 ９ 日までとなっています。今年の標語は「静かだけど、冒険中。」です。本校では一足早く ９ 月に「読書月間」を設け、図書室の利用促進や読書イベントなどを企画しました。期間中、子どもたちが意欲的に本に親しむ微笑ましい姿がたくさん見られました。読書の秋をきっかけに、ご家庭におかれましても「親子で一緒に本を読む時間」を設けたり、寝る前に本を手に取る習慣を取り入れたりするなど、「本のある暮らし」を楽しんでいただけましたら幸いです。引き続き、温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。